

TKK5000系 最晩年タイプA

Nゲージボディ3両未塗装スナップフィットキット基本セット

組立説明書



製品概要

TKK5000系は1954年から1987年までTKK各線で活躍した通勤型電車です。従来の車両に比べて大幅な軽量化を図り、新機軸の積極的な採用を行った画期的な車両でした。

張殻構造と呼ばれる下膨れの車両鋼体は、その特徴的な形状とグリーンの車体色から”アオガエル”の名で親しまれました。

製造時期の違いや後年の度重なる更新工事で多くの形態差が生じ、晩年は様々な形態の車両が1つの編成に組成されることも珍しくありませんでした。

nano factoryでは、TKK5000系のうち、大井町線や目蒲線で最晩年を過ぎた車両の中から、1980年以降の5052F5連/5047F3連の姿を選定して、3Dプリントにて皆様にご提供いたします。

ピンをピン穴に挿入し、相互の摩擦力で結合するスナップフィットを採用しているため、簡単に組立が可能です。

製品仕様

製品名：TKK5000系 最晩年タイプA

Nゲージボディ3両未塗装スナップフィットキット基本セット

数量：TKK5000系 3両編成

(デハ5052/5047×1、サハ5352/5353/5354×1、デハ5038/5050×1)

内訳：

車体	屋根	床板	台車 (車輪別)
床下 機器	ダミー 連結器	屋根上 機器	動力化 対応

デハ5052/5047：

- a. 前面(ジャンパ線・雨樋有)：1
- b. 妻面(銘板有)：1
- c. 先頭車側板右側：(雨樋有)：1
- d. 先頭車側板左側：(雨樋有)：1
- e. 先頭車デハ5052/5047用屋根板：1
- f. 先頭車用床板：1

サハ5352/5353/5354：

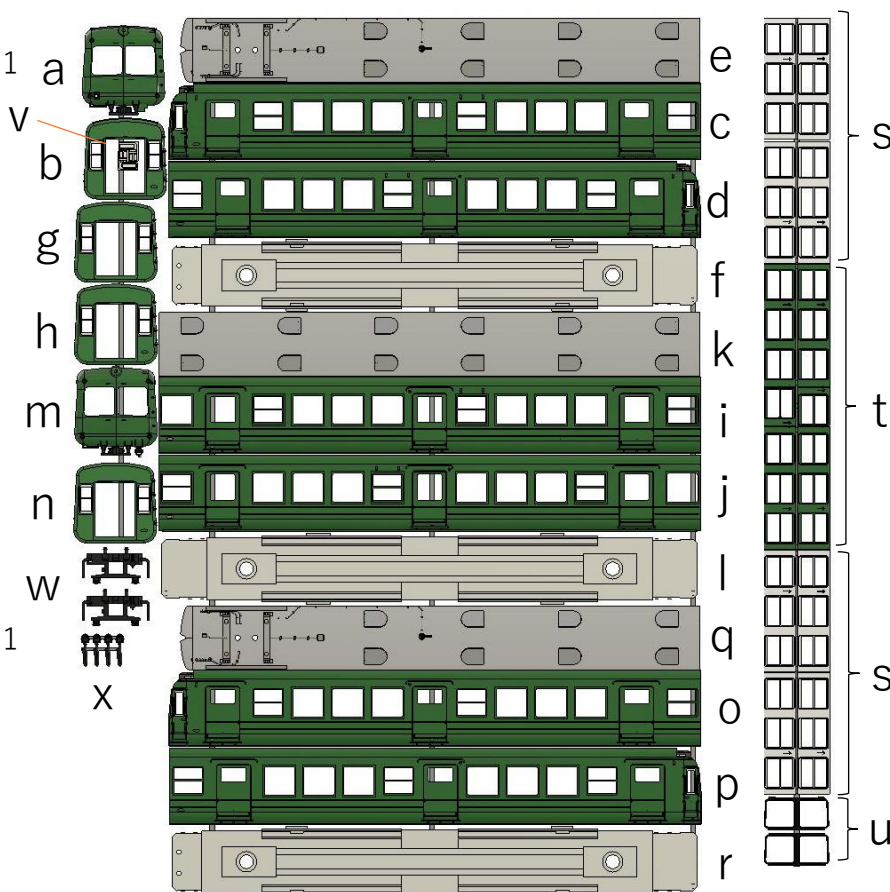
- g. 妻面(銘板無)：1
- h. 妻面(銘板有)：1
- i. 中間車側板右側：1
- j. 中間車側板左側：1
- k. 中間車屋根板：1
- l. 中間車用床板：1

デハ5038/5050：

- m. 前面(ジャンパ線・雨樋無)：1
- n. 妻面(銘板有)：1
- o. 先頭車側板右側：(水切有)：1
- p. 先頭車側板左側：(水切有)：1
- q. 先頭車デハ5038/5050用屋根板：1
- r. 先頭車用床板：1

共通付属品類：

- s. 先頭車用側面窓サッシ：1セット
- t. 中間車用側面窓サッシ：1セット
- u. 前面Hゴム：2
- v. 前面行先表示器：2
- w. ATS受電器・乗務員ステップ：2
- x. 先頭車用ジャンパ線：4



別途必要品：完成には下記の弊社別売品及び社外品が必要です

- 床下機器：nano factory TKK5000/5200系用床下機器3両セット
- 中間連結器：アールド カラー 又は 各社 カラー：3両分4個
- 台車：GM TS-301台車：6個
- 動力ユニット：GM コアレスモーター動力ユニット 18m級長軸距 (品番5717)：1個(要加工・組立説明書組立図参照)
- パンタグラフ：TOMIX PG16パンタグラフ又はGM PT42Nパンタグラフ：2個
- 窓ガラス用透明板：透明塩ビ板・プラ板切出、前面2・側面8・妻面8
- 車体表記インレタ：GM 品番6405 推奨

製品外観

製品名：TKK5000系 最晩年タイプA
Nゲージボディ3両未塗装スナップフィットキット基本セット

数量：TKK5000系 3両編成
(デハ5052/5047×1、サハ5352/5353/5354×1、デハ5038/5050×1)

←大井町・目黒

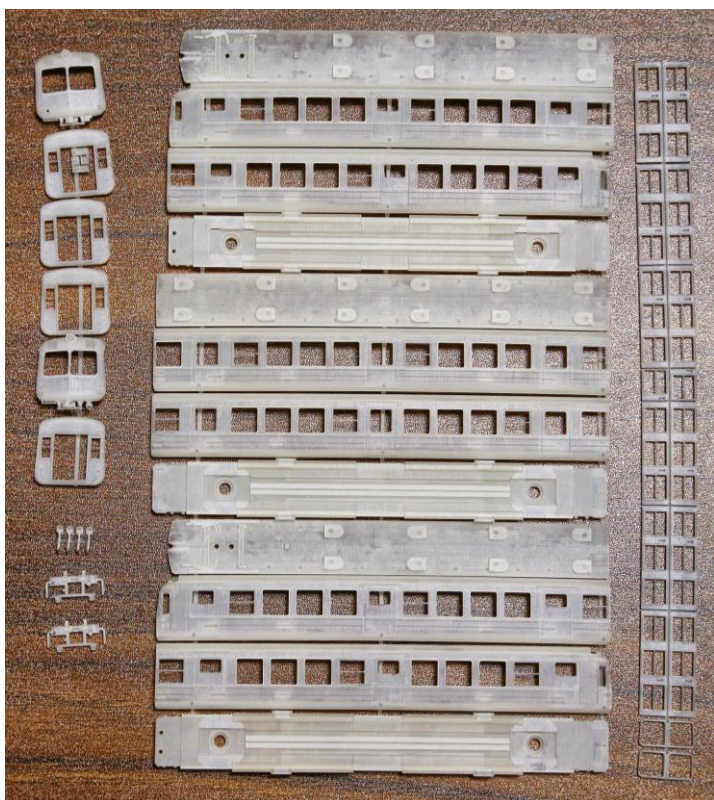
蒲田・二子玉川→

年代	デハ5000	サハ5350	デハ5100 (増結セット)	サハ5350	デハ5000
1980～1983	5052	5366(増結セット)	5116(増結セット)	5352	5038
1983～1984	5052	5353(増結セット)	5116(増結セット)	5352	5038
1984～1985	5052	5353	5116(増結セット)	5360(増結セット)	5038
1985～1986	5047	5354	-	-	5050

※サハ5350の組み合わせにより各年代を再現できます。
増結セットのサハ2両を組み合わせると好きな形態を再現して下さい。

納品状態

※写真は試作品です 製品版とは異なる場合があります



本製品の特徴

- ・本製品は、TKK5000系のうち、最晩年の5052F5連/5047F3連の姿をプロトタイプとしています。



形式	更新時期	雨樋有無	水切有無	客扉窓	サッシ色
デハ5052/5047	後期	有	無	小	銀
デハ5038/5050	後期	無	有	小	銀
デハ5116	後期	無	有	小	銀
サハ5352/5353/5354	初期	無	有	大	緑
サハ5360/5366	後期	有	無	小	銀

- ・ **前頭部作り分け**：両端先頭車でジャンパ線の有無をはじめ細部を作り分け
- ・ **雨樋・水切**：更新車・再更新車で雨樋有無や水切追設を作り分け
- ・ **客扉窓**：初期更新・後期更新とで異なる客扉窓の大きさの違いを再現
- ・ **窓サッシ・Hゴム**：塗分けの難しいサッシ・Hゴム部を別パーツ化
- ・ **屋根板**：先頭車屋根板は、両端で配管向きが反転する姿を再現
- ・ **組立**：スナップフィットキットのため、ボディと屋根板を差し込むだけで組みあがります。組立後は補強のため裏から瞬間接着剤を流し込んでください。詳しくは組立説明書をご覧ください

製品外観 形式写真 ※写真は組立例です



Mc デハ5052/5047



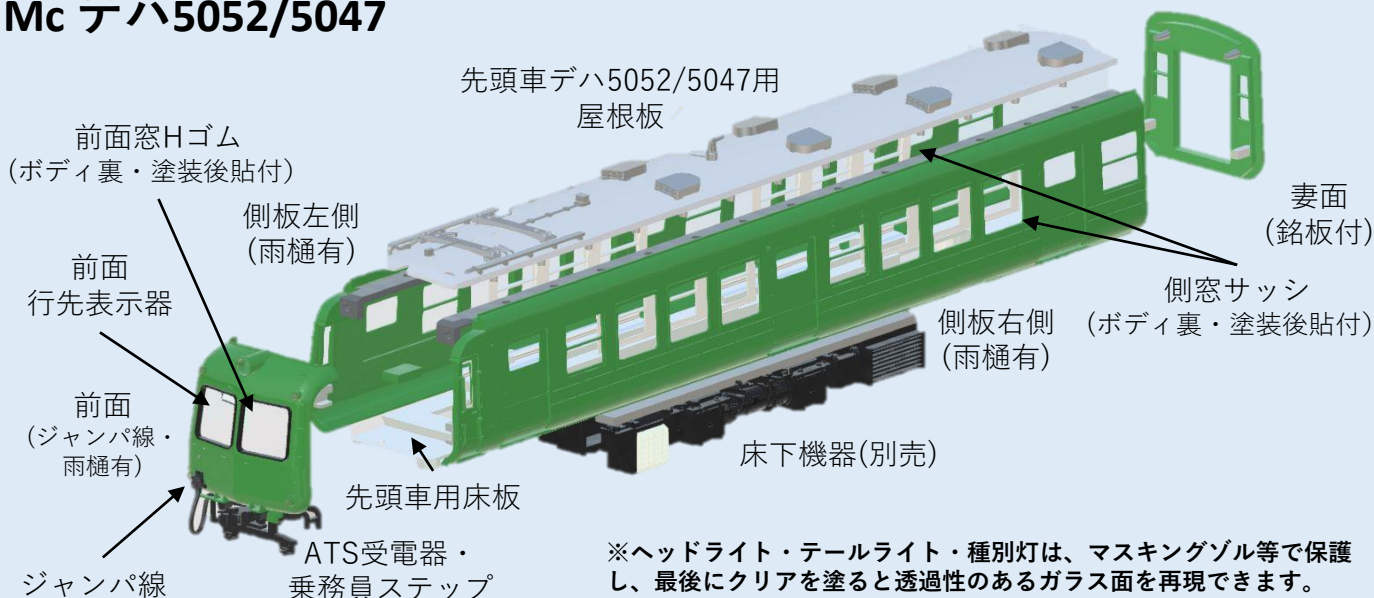
T サハ5252/5253/5254



Mc デハ5038/5050

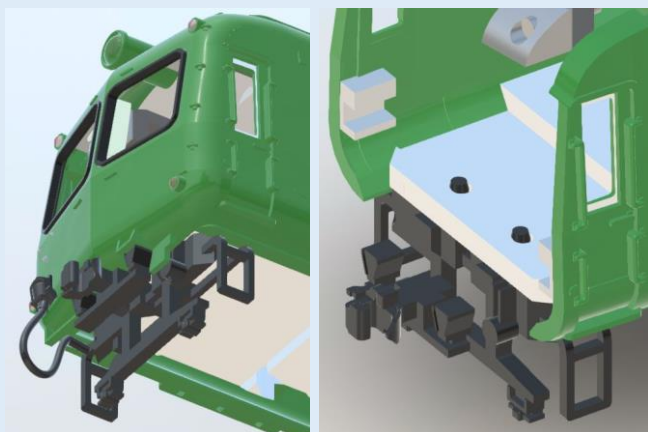
組立図

Mc デハ5052/5047



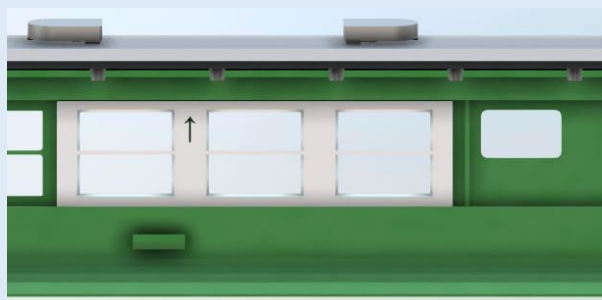
※ヘッドライト・テールライト・種別灯は、マスキングゾル等で保護し、最後にクリアを塗ると透過性のあるガラス面を再現できます。

ATS受電器・乗務員ステップ取付

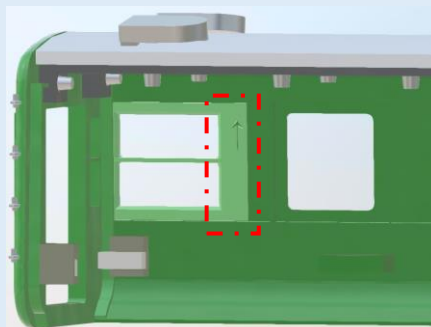


ATS受電器・乗務員ステップパーツの
上部取付足を床板に差し込む

側窓サッシ取付



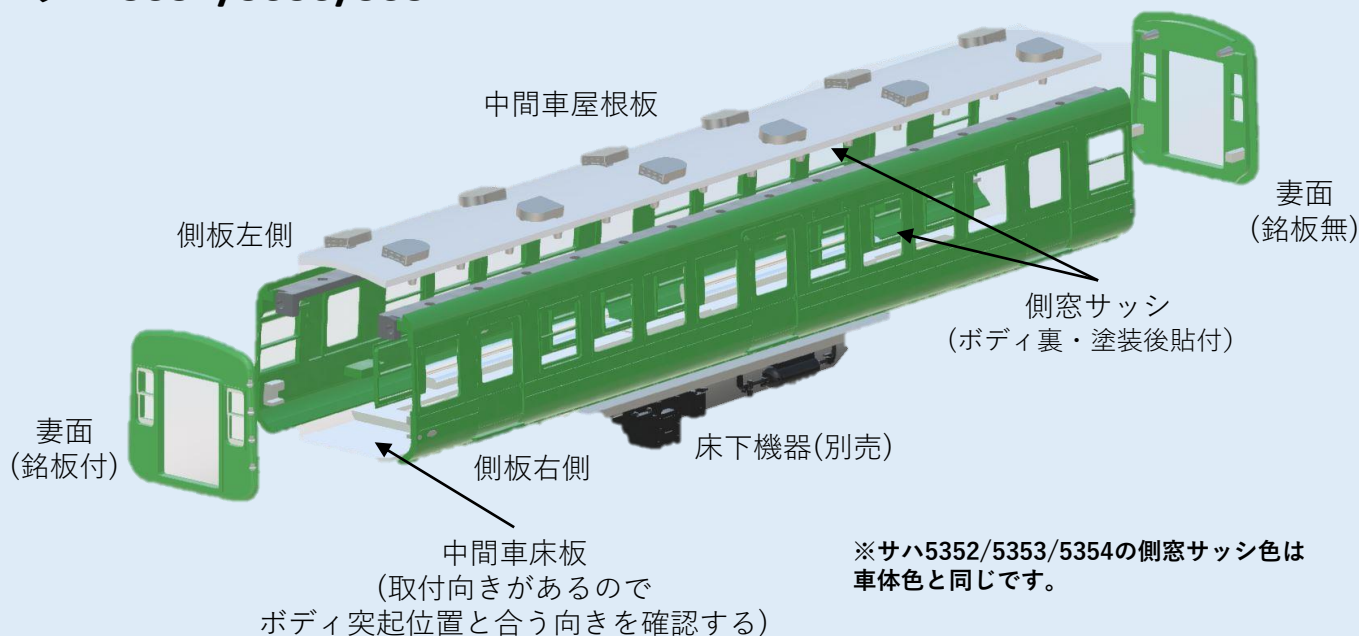
側窓サッシは、↑矢印の刻印を上
に、サッシ表現がある方を表
に向け貼り付ける



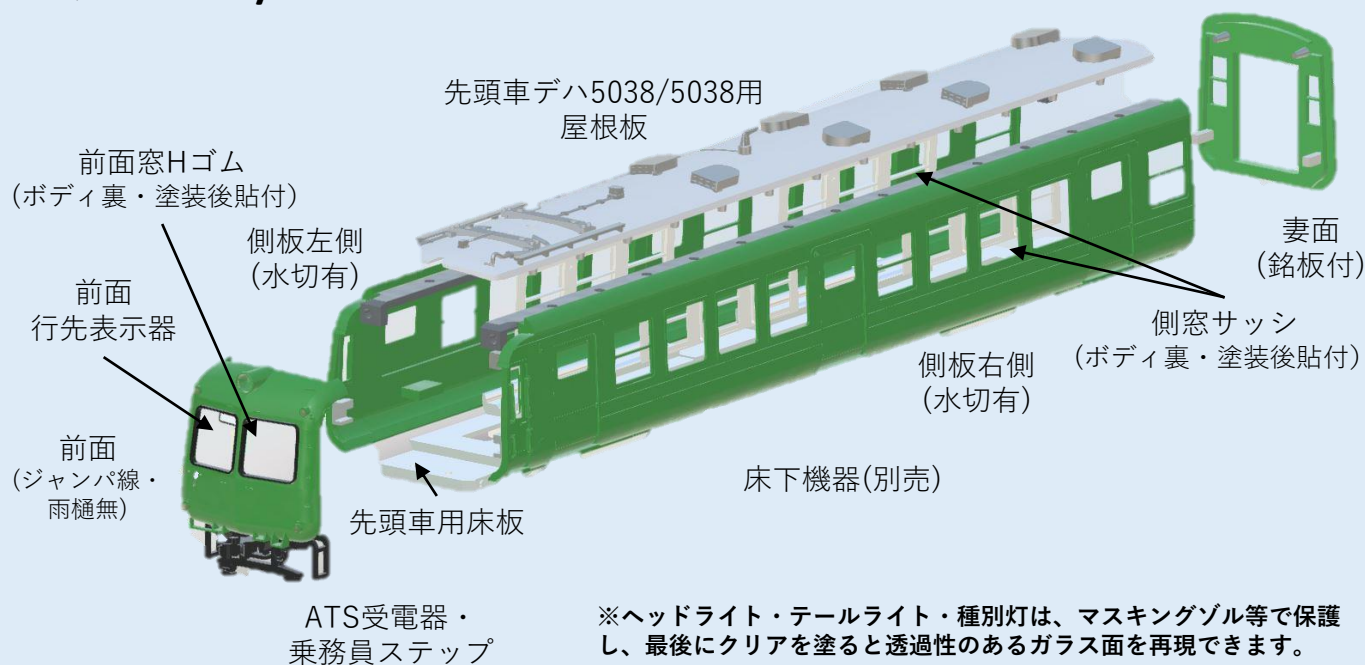
中間車端部の側窓サッシは、赤点線のりし
ろ部が客扉側に向くよう貼り
付ける

組立図

T サハ5352/5353/5354



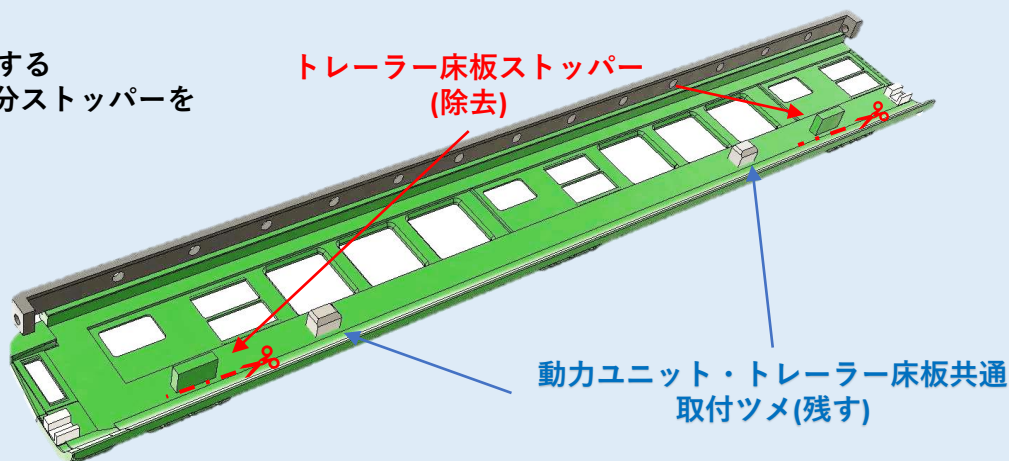
Mc デハ5038/5050



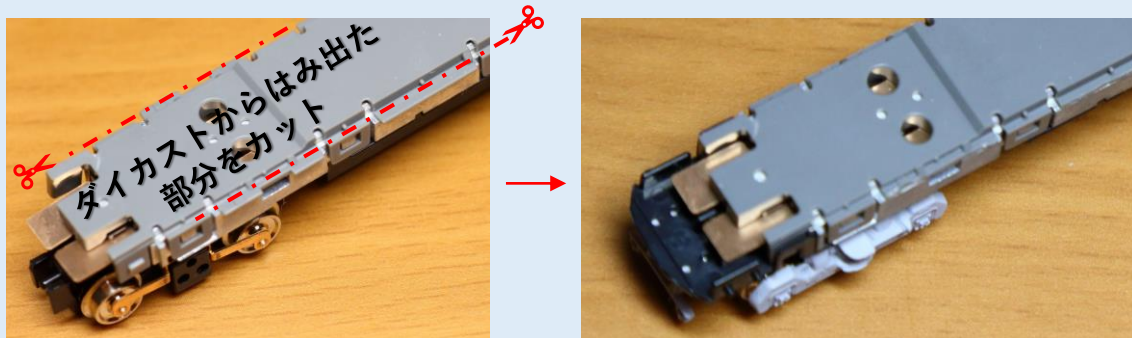
組立図

Mc デハ5000 GMコアレス動力ユニット 18m級長軸距 (品番5717) 取付方法

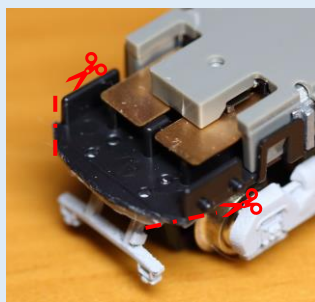
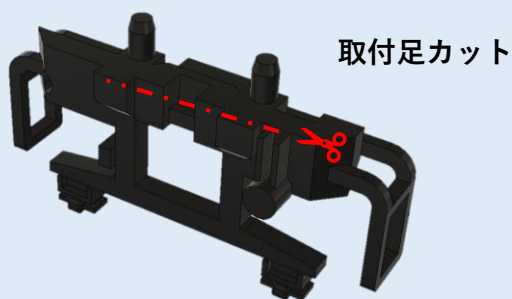
- 1.動力ユニットと干渉する
左右側板の赤矢印部分ストッパーを
カット・除去します



- 2.動力ユニットのダイカストからはみ出たプラカバーをカット・除去します



- 3.ATS受電器・乗務員ステップは取付足をカットし、動力ユニットのカプラー受けにゴム系接着剤等で接着します。



※ボディの裾部が絞ってあるため取付が窮屈な場合があります。
どうしてもうまくはまらない場合はボディ裾部内側を削ってください。

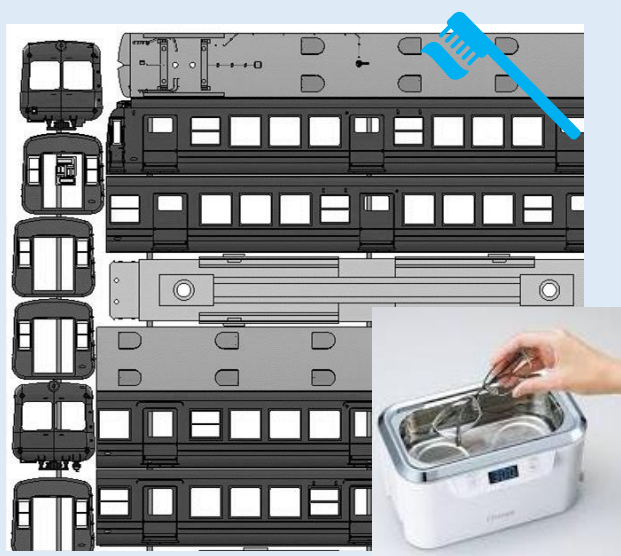
組立説明・手順 (スナップフィットキット 共通)

1. 全てのパーツを中性洗剤で洗浄します

パーツ表面の油分を取り除き塗料の定着を良くします。

このとき歯ブラシを使用し、ぬるま湯で丁寧に擦るとよいでしょう。

超音波洗浄器を使用すると、入り組んだ場所まで綺麗に洗浄できます。





2. 反りのあるパーツは60°C程度のお湯に浸し、手で矯正します

ボディや屋根板など、細長い板状のパーツは反りがある場合があります。軽微な反りはボディ接着の過程で矯正されますが、強い反りは60°Cほどの熱湯に浸すか、平板にヘアゴム等でプリント品を固定し、ドライヤーで熱することにより事前に矯正することができます。

熱湯を使用する際はやけどに十分ご注意ください。また、高温すぎると変形の原因となりますのでご注意ください。

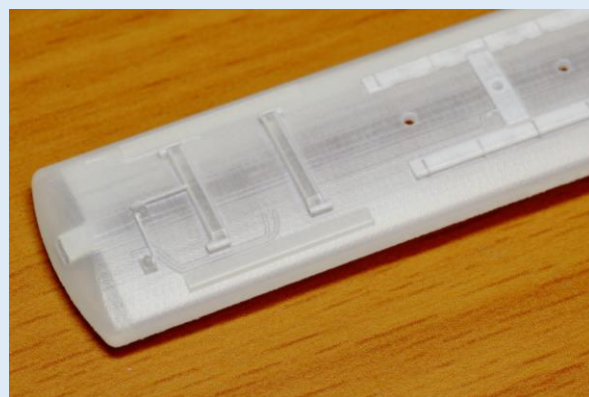


  やけどに注意

3. 積層痕形目立つ場合は、紙やすりで削ります

ボディや屋根板などに曲面・勾配がつく箇所は、3Dプリントの特性上積層痕と呼ばれる木目のような凹凸が発生します。

そのような箇所は、#600～#1200程度の紙やすりで削り平滑にしてください。削りすぎてディテールを損なわないようご注意ください。



組立説明・手順 (スナップフィットキット 共通)

4. ボディ4面と屋根板のピンとピン穴を結合します

スナップフィットキットでは、ピンをピン穴に挿入するだけでボディを組み立てられます。

屋根板は塗装後に取り付けることも可能ですので、必要に応じて組立順序を前後させて下さい。

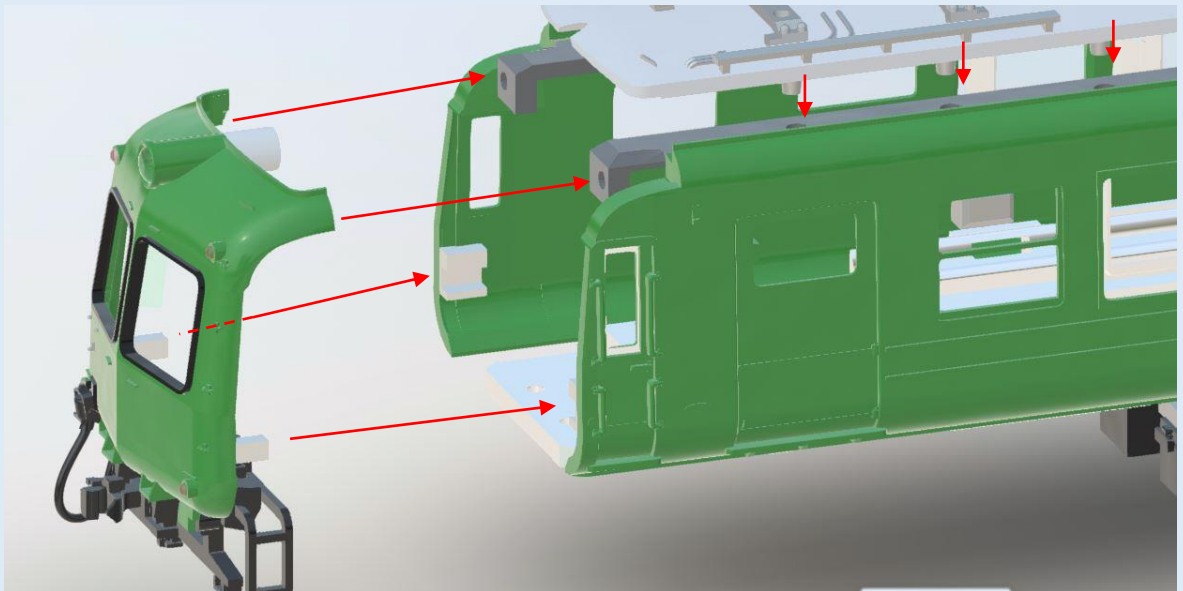
但し、先にボディと屋根板を組立てた方が剛性が高いため、作業が安定します。

結合後は、ピンとピン穴の接合部分に瞬間接着剤を流し込んで補強してください。



ボディに反りが残っていても組立の過程で矯正されますが、強い反りは事前に熱湯やドライヤー等で矯正しておくとう組立が簡単です。

スナップフィットキット 組立図



前面及び妻板のピンと屋根板のピンを、側板のピン穴に差し込むだけ！

※差し込むだけで組立可能ですが、補強のためボディ裏から接合部分に瞬間接着剤を流し込んでください。